

## 第 1 6 1 回 岡山市第一農業委員会総会議事録

- 1 招集の日時 令和 6 年 6 月 1 8 日（火）午後 2 時 0 0 分
- 2 開会の日時 令和 6 年 6 月 1 8 日（火）午後 1 時 5 6 分
- 3 閉会の日時 令和 6 年 6 月 1 8 日（火）午後 3 時 1 7 分
- 4 会議の場所 岡山市北区大供一丁目 1 番 1 号 岡山市役所 7 階大会議室
- 5 出席委員の氏名並びに出席、欠席の別  
出席 1 5 名 欠席 2 名

議席番号	氏 名	出欠の別	議席番号	氏 名	出欠の別
1	秋山 幸江	出席	職務代理	小橋 久宣	出席
2	荒井 隆文	出席	1 1	小林 弘幸	出席
3	板野 元次	出席	1 2	佐藤 卓司	出席
4	浦上 和己	欠席	1 3	真田 明彦	出席
5	遠藤 康二	出席	1 4	丹原 昭二	出席
6	賀門 義和	出席	1 5	長瀬 孝司	出席
7	國定 豪	出席	1 6	三垣 千秋	出席
8	久山 優	欠席	1 7	和田 修一郎	出席
会長	黒田 栄三郎	出席			

- 6 事務局出席者  
農地担当課長 竹田 了久 主幹 佐藤 孝司 農政担当課長補佐 橋本 聡実  
農地担当課長補佐 逢坂 篤之 農地担当係長 田尾 和宏

- 7 傍聴者 0 名

- 8 議 題

第 1 号議案 農地関係申請等について

申 請 等 (1) 農地法第 3 条の規定に基づく許可申請について

(2) 農地法第 4 条の規定に基づく許可申請について

(3) 農地法第 5 条の規定に基づく許可申請について

(4) 転用事業計画変更承認申請について

(5) 岡山市農用地利用集積計画の決定について（所有権の移転）

(6) 農地法第 3 条の 3 第 1 項の規定に基づく届出について

報 告 (1) 農地法第 4 条第 1 項第 7 号の規定による転用届について

(2) 農地法第 5 条第 1 項第 6 号の規定による転用届について

(3) 農地法第 1 8 条第 6 項の規定による合意解約通知について

(4) 農地法施行規則第 2 9 条第 1 号該当転用届について

(5) 農地改良届について

第 2 号議案 農政関係等について

(1) 農政関係等について

(2) その他

- 9 議事録署名委員の番号及び指名 5 番 遠藤 康二 1 5 番 長瀬 孝司

10 議事の内容

議長 みなさんご苦労様です。ただいまから岡山市第一農業委員会第161回総会を開会します。（あいさつ）

議事録署名委員を指名します。5番 遠藤委員，15番 長瀬委員にお願いします。

議案の審議の前に，事務局，訂正等あればお願いします。

田尾係長 議案の訂正があります。本日お配りした正誤表をご覧ください。

申請等（1）農地法第3条の規定に基づく許可申請について，南区の4ページ32番が6月13日付で取下げになっています。その他の説明は省略します。

また，先月許可の議決をした南区藤田の流通業務施設（倉庫・事務所）を転用目的とする5条申請は，面積が3,000㎡を超えていましたので，5月28日の県農業会議に諮問し，許可適当との答申があり，許可指令書を交付しています。

議長 それでは，議案の審議に入ります。

第1号議案，農地関係申請等について，を上程します。

申請等（1）農地法第3条の規定に基づく許可申請についての審議に入ります。

中・中央地区の説明を事務局からお願いします。

田尾係長 1ページ1番，受人は北区御津中牧に居住し，約83aの農地を耕作する農業者で，増反により原の畑を取得しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること，機械，労働力，技術，地域との関係等，いずれも問題ないことから許可要件を全て満たしていると考えます。

2番，受人は北区花尻ききょう町に居住し，約11aの農地を耕作する農業者で，増反により尾上の田を取得しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること，機械，労働力，技術，地域との関係等，いずれも問題ないことから許可要件を全て満たしていると考えます。

3番，受人は北区津高に居住し，約3aの農地を耕作する農業者で，受贈により津高の畑を取得しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること，機械，労働力，技術，地域との関係等，いずれも問題ないことから許可要件を全て満たしていると考えます。

4番，受人は北区西古松西町に居住し，約67aの農地を耕作する農業者で，増反により富原の畑を取得しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること，機械，労働力，技術，地域との関係等，いずれも問題ないことから許可要件を全て満たしていると考えます。

5番，受人は北区田中に居住し，約83aの農地を耕作する農業者で，増反により芳賀の畑を取得しようとするものです。

地区協議会の審議では，令和6年3，4月に3条許可を受けて取得した約70aの農地の利用がまだできていない状態で，このたび約2ha取得して，農地利用がなされるか疑義があるとして，営農計画の提出を受けて判断する必要があることから，保留意見となっています。

6番，受人は北区首部に居住し，約30aの農地を耕作する農業者で，増反により首部の田を取得しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること，機械，労働力，技術，地域との関係

等，いずれも問題ないことから許可要件を全て満たしていると考えます。

7番，受人は北区白石に居住し，約67aの農地を耕作する農業者で，増反（耕作利便のため）により白石の田を取得しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること，機械，労働力，技術，地域との関係等，いずれも問題ないことから許可要件を全て満たしていると考えます。

8番，受人は北区白石に居住し，約12aの農地を耕作する農業者で，増反により白石の田を取得しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること，機械，労働力，技術，地域との関係等，いずれも問題ないことから許可要件を全て満たしていると考えます。

9番，受人は北区尾上に居住し，約1.1haの農地を耕作する農業者で，増反により尾上の田を取得しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること，機械，労働力，技術，地域との関係等，いずれも問題ないことから許可要件を全て満たしていると考えます。

2ページ10番，受人は北区尾上に事務所を置き，約2.3haの農地を耕作する農地所有適格法人で，増反により尾上の田を取得しようとするものです。

適格法人の要件を満たすこと，また取得後のすべての農地を利用すること，機械，労働力，技術，地域との関係等，いずれも問題ないことから許可要件を全て満たしていると考えます。

議長 中・中央地区協議会の意見を踏まえて，協議会に出席された委員さんの意見をお願いします。

和田委員 中・中央地区協議会で，1番から10番までの10件について協議したところ，事務局の説明のとおりで，5番を保留意見，残る9件を許可意見としており，農業委員としても同様の意見です。

議長 他の委員さん，何かご意見がありますか。

全員 異議なし。

議長 次に，北・吉備地区の説明を事務局からお願いします。

田尾係長 2ページ11番，本件は渡人が令和6年6月8日に死亡し，取下げ予定ですが，取下げ書がまだ提出されておりませんので保留扱いでお願いします。

12番，受人は平山に居住し，世帯で約27aの農地を耕作する農業者で，増反により平山の田畑を取得しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること，機械，労働力，技術，地域との関係等，いずれも問題ないことから，許可要件をすべて満たしていると考えます。

13番，受人は横井上に居住し，世帯で約91aの農地を耕作する農業者で，増反により延友の田を取得しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること，機械，労働力，技術，地域との関係等，いずれも問題ないことから，許可要件をすべて満たしていると考えます。

14番，受人は下足守に居住し，世帯で約2.6haの農地を耕作する農業者で，借入地の取得及び受贈により下足守の田を取得しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること，機械，労働力，技術，地域との関係等，いずれも問題ないことから，許可要件をすべて満たしていると考えます。

15番，受人は足守に居住し，世帯で約42aの農地を耕作する農業者で，増反により足守の畑を取得しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等、いずれも問題ないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

16番及び17番は受人が同一のため、まとめて説明します。

受人は吉備津に居住し、新規農により吉備津の畑を取得しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等、いずれも問題ないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

18番、受人は東京都練馬区に居住し、新規農により延友の畑を取得しようとするものです。なお、受人は渡人から延友の宅地を購入しており、令和6年7月頃に転入する予定です。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等、いずれも問題ないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

3ページ19番、受人は尾上に居住し、新規農により大内田の畑を取得しようとするものです。なお、受人は渡人から大内田の宅地を購入しており、令和6年7月から8月頃に転居する予定です。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等、いずれも問題ないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

議長

北・吉備地区協議会の意見を踏まえて、協議会に出席された委員さんの意見をお願いします。

三垣委員

北・吉備地区協議会で、11番から19番までの9件について協議したところ、事務局の説明のとおりで、11番を保留意見、残る8件を許可意見としており、農業委員としても同様の意見です。

議長

他の委員さん、何かご意見がありますか。

全員

異議なし。

議長

次に御津・建部地区の説明を事務局からお願いします。

田尾係長

3ページ20番、受人は中区原尾島に居住し、新規農により御津新庄の畑を所有権移転しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等問題がないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

21番、受人は中区湊に居住し、新規農により御津河内の田を所有権移転しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等問題がないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

22番、受人は愛知県名古屋市の市に居住し、新規農により御津虎倉の畑を所有権移転しようとするものです。なお、受人は渡人より御津虎倉の中古住宅も購入しており、リフォーム後、年内に転入する予定です。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等問題がないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

23番、受人は南区大福に居住し、約10a耕作する農業者で、増反により建部町大田の畑を所有権移転しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等問題がないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

議長

御津・建部地区協議会の意見を踏まえて、協議会に出席された委員さんの意

見をお願いします。

佐藤委員 御津・建部地区協議会で、20番から23番までの4件について協議したところ、事務局の説明のとおりで、いずれも許可意見としており、農業委員としても同様の意見です。

議長 他の委員さん、何かご意見がありますか。

全員 異議なし。

議長 次に南区の説明を事務局からお願いします。

逢坂課長補佐 3ページ24番、受人は福富東二丁目に居住し、世帯で約2haの農地を耕作する農業者で、増反により藤田の田及び畑を所有権移転しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等、問題がないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

25番、受人は浦安南町に居住する無職の者で、新規農(受贈)により浦安南町の畑を所有権移転しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等、問題がないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

26番、受人は藤田に居住し、自身が役員を務める法人で約70aの農地を耕作する農業者兼会社役員で、受贈により中畦の畑を所有権移転しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等、問題がないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

27番、受人は北区中仙道一丁目に居住し、世帯で約77aの農地を耕作する農業者で、増反により競売で落札した藤田の田を所有権移転しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等、問題がないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

4ページ28番、受人は北区平田に居住し、世帯で約24aの農地を耕作する農業法人役員兼農業者で、増反により藤田の田を所有権移転しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等、問題がないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

29番と30番は同時申請で交換のため、まとめて説明します。

交換による所有権の移転です。

29番、受人は東区西大寺中野に居住する農業兼会社員2名と北区田中に居住する農業兼団体職員で、世帯で約74aの農地を耕作しており、交換により西畦の畑を所有権移転しようとするものです。

30番、受人は西畦に居住し、世帯で約11aの農地を耕作する農業者で、交換により西畦の畑を所有権移転しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等、問題がないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

31番、受人は北区中仙道一丁目に居住し、世帯で約77aの農地を耕作する会社役員兼農業者で、増反により箕島の田を所有権移転しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等、問題がないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

32番は取下げです。

33番、受人は迫川に居住し、世帯で約80aの農地を耕作する農業兼会社員で増反により迫川の田を所有権移転しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等、問題がないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

34番、受人は西高崎に居住し、世帯で約5.2haの農地を耕作する農業者で、借入地である西高崎の田を所有権移転しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等、問題がないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

35番、受人は西市に居住する農業者で、新規農（受贈）により母が所有する片岡の田と畑の2分の1の所有権を移転しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等、問題がないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

36番から38番までは受人が同一のため、まとめて説明します。

5ページ36番から38番、受人は迫川に居住し、世帯で約7.3haの農地を耕作する会社役員兼農業者で、増反により西高崎の田を所有権移転しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等、問題がないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

39番、受人は玉野市迫間に居住する自動車整備業兼農業者で、新規農により迫川の畑を所有権移転しようとするものです。

取得後のすべての農地を利用すること、機械、労働力、技術、地域との関係等、問題がないことから、許可要件をすべて満たしていると考えます。

議長 南区協議会の意見を踏まえて、協議会に出席された委員さんの意見を願います。

小林委員 南区協議会で、取下げの32番を除く24番から39番までの15件について協議したところ、事務局の説明のとおりで、いずれも許可意見としており、農業委員としても同様の意見です。

議長 他の委員さん、何かご意見がありますか。

全員 異議なし。

議長 それでは、申請等（1）については、取下げの32番を除く、1番から39番までの38件ですが、5番、11番の2件を保留とし、残る36件をいずれも許可と決定してよろしいでしょうか。

全員 異議なし。

議長 それでは、そのように決定いたします。

次に、申請等（2）農地法第4条の規定に基づく許可申請についての審議に入ります。なお、2番については、（3）農地法第5条の規定に基づく許可申請の46番と同時申請で相互に関連がありますので、（3）の審議の際に一括して審議します。

それでは、南区1番の説明を事務局からお願いします。

逢坂課長補佐 6ページ1番、転用目的は貸露天駐車場及び貸露天資材置場で、永久目的の一時転用で、期間は許可日から3年間です。

申請人は藤田に居住する農業者ですが、建設機械等の回送業、建設業を営む[ ]より、従業員の家乗車の駐車場及び重機車両の駐車場として現在使用している借地を所有者側の都合により退去することに伴い、既存駐車場と近隣で交通至便である申請地を代替地として利用したいとの要望があったことから、一時転用許可

を受けようとするものです。

農地区分は、農地の広がりがあるが10ha未満の2種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。転用面積については、露天資材置場や普通車約10台分の駐車場の土地利用計画から妥当なものと考えます。また、被害防除計画等、その他の一般基準上も問題ないと考えます。

議長 南区協議会の意見を踏まえて、協議会に出席された委員さんの意見を願います。

小林委員 南区協議会で、1番について協議したところ、事務局説明のとおりで、許可意見としており、農業委員としても同様の意見です。

議長 他の委員さん、何かご意見がありますか。

全員 異議なし。

議長 それでは、申請等(2)の1番の1件については、許可と決定してよろしいでしょうか。

全員 異議なし。

議長 それでは、そのように決定いたします。

なお、1番は転用面積が3,000㎡を超えていますので、6月28日開催の県農業会議に諮問し、その答申を受けて許可指令書を交付することとします。

次に、申請等(3)農地法第5条の規定に基づく許可申請について、及び申請等(2)の2番の審議に入ります。

まず、出席の委員さんが関係する案件である中・中央地区の3番及び7番を含む1番から7番までについては、同じ地域のためまとめて審議します。事務局から説明をお願いします。

#### <※ 板野委員 退室>

田尾係長 7ページ1番から7番、これらは令和6年4月19日付公告の農振除外済の案件で、転用目的はいずれも自己専用住宅です。

1番、申請人は北区花尻みどり町の借家に申請人と妻と子ども2人で生活していますが、子どもの成長に伴い家財道具が増え手狭になったことから、申請人の妻の勤務先に近く、生活環境が変わらない申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

2番、申請人らは北区久米の借家に申請人らと子ども1人で生活していますが、子どもの成長に伴い家財道具が増え手狭になったことから、生活環境が変わらず、申請人(夫)の勤務先に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

3番、申請人らは北区東花尻の借家に申請人らと子ども1人で生活していますが、子どもの成長に伴い家財道具が増え手狭になったことから、生活環境が変わらず、申請人らの勤務先に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

4番、申請人らは北区今保の借家に申請人らと子ども1人で生活していますが、子どもの成長に伴い家財道具が増え手狭になったことから、申請人(夫)の勤務先に近く、生活環境が変わらない申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

5 番, 申請人は倉敷市の借家に単身で生活し, 申請人の妻と子ども 1 人は北区田中の宿舎で生活していますが, 子どもの成長に伴い家財道具が増え手狭になったことから現住居を退去して同居することとし, 妻と子どもの生活環境が変わらない申請地の所有権を移転し, 自己専用住宅を建築しようとするものです。

6 番, 申請人らは北区田中の借家に申請人ら 2 人で生活していますが, 家財道具が増え手狭になったことから, 申請人(妻)の勤務先に近く, 生活環境が変わらない申請地の所有権を移転し, 自己専用住宅を建築しようとするものです。

7 番, 申請人は南区西高崎の妻の実家に申請人と妻と子ども 1 人, 妻の両親と妻の妹の 6 人で生活していますが, 子どもの成長に伴い家財道具が増え手狭になったことから, 申請人の実家に近い申請地の所有権を移転し, 自己専用住宅を建築しようとするものです。なお, 現住居には妻の両親と妻の妹が引き続き居住します。

いずれも農地区分は農地の広がりがあるが 10ha 未満の 2 種農地と判断され, 転用目的は問題ないと考えます。また, 転用面積・被害防除計画等, 一般基準上も問題ないと考えます。

議長 中・中央地区協議会の意見を踏まえて, 協議会に出席された委員さんの意見ををお願いします。

和田委員 中・中央地区協議会で, 1 番から 7 番までの 7 件について協議したところ, 事務局の説明のとおりで, 許可意見としており, 農業委員としても同様の意見です。

議長 他の委員さん, 何かご意見がありますか。

全員 異議なし。

議長 それでは, 申請等(1)の 1 番から 7 番までの 7 件を許可と決定してよろしいでしょうか。

全員 異議なし。

議長 それでは, そのように決定します。

#### <※ 板野委員 入室>

議長 続いて, 中・中央地区の説明を事務局からお願いします。

田尾係長 8 ページ 8 番, 転用目的は自己専用住宅です。

申請人は, 東区鉄の借家に申請人と母と妹 2 人弟 1 人の 5 人で生活していますが, 家財道具が増え手狭になったことから, 申請人の勤務先に近い申請地の所有権を移転し, 自己専用住宅を建築しようとするものです。

農地区分は駅から 300m 以内の 3 種農地と判断され, 転用目的は問題ないと考えます。また, 転用面積・被害防除計画等, 一般基準上も問題ないと考えます。

8 ページ 9 番, 9 ページ 10 番は同じ地域のためまとめて説明します。

これらは令和 6 年 4 月 19 日付公告の農振除外済の案件で, 転用目的はいずれも自己専用住宅です。

9 番, 申請人らは北区三門東町の借家に申請人らと子ども 1 人で生活していますが, 子どもが生まれ, 現住居では手狭になったことから, 現住居から近



く、申請人らの勤務先にも近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

10番、申請人は倉敷市中帯江の借家に申請人と妻と子ども1人で生活していますが、子どもが生まれたことから、申請人の妻の親族（叔母）の家から近く、勤務先にも近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

農地区分は農地の広がりがあるが10ha未満の2種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

11番、本件は令和6年4月19日付公告の農振除外済の案件で、転用目的は診療所です。

申請人は小児科医として病院に勤めていますが、申請地の半径2kmに小児科専門の医院がなく、地域の方から求められたことから開業することとし、交通の便が良くアクセスしやすい申請地の所有権を移転し、診療所を建築しようとするものです。

農地区分は農地の広がりがあるが10ha未満の2種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

12番から17番までは、同じ地域のためまとめて説明します。

これらは令和6年4月19日付公告の農振除外済の案件で、転用目的は13番が自己兼用住宅、それ以外は自己専用住宅です。

12番、申請人らは北区尾上の借家に申請人らと子ども2人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったことから、申請人らの勤務先に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

13番、申請人は北区一宮の実家に申請人と妻と子ども2人、両親の6人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったことから、現住居から近い申請地の所有権を移転し、美容室を兼ねた自己兼用住宅を建築しようとするものです。なお、現住居には両親が引き続き居住します。

14番、申請人らは、夫は北区芳賀の実家で、妻は子ども1人と北区下伊福本町の借家で生活していますが、子どもが産まれたことから同居することとし、申請人らの勤務先に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。なお、夫の現住居には引き続き夫の家族が居住します。

15番、申請人は北区延友の借家に申請人と妻と子ども1人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったことから、申請人の勤務先に近く、実家にも近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

16番、申請人らは北区平野の借家に申請人らと子ども1人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったことから、申請人らの勤務先に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

17番、申請人らは北区花尻みどり町の借家に申請人らと子ども1人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったことから、申請人らの勤務先に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

農地区分は駅から300m以内の3種農地と判断され、転用目的は問題な

いと考えます。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

10 ページ 18 番から 20 番までは、同じ地域のためまとめて説明します。

これらは令和 6 年 4 月 19 日付公告の農振除外済の案件で、転用目的はいずれも自己専用住宅です。

18 番、申請人らは中区門田屋敷の借家に申請人らと子ども 1 人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったことから、申請人（夫）の勤務先に近く、申請人（妻）の実家にも近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

19 番、申請人らは北区高柳西町の借家に申請人ら 2 人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったことから、申請人らの勤務先に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

20 番、申請人らは北区平野の借家に申請人ら 2 人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったことから、申請人らの勤務先に近く、生活環境が変わらない申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

農地区分は農地の広がり 10 ha 未満の 2 種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

21 番、転用目的は自己専用住宅です。

申請人は倉敷市の社宅に申請人と妻と子ども 1 人で生活していますが、子どもの成長に伴い家財道具が増え手狭になったことから、申請人の妻の実家に近い妻の祖母所有の申請地に使用貸借権を設定し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

農地区分は駅から 300 m 以内の 3 種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

11 ページ 22 番、本件は令和 6 年 4 月 19 日付公告の農振除外済の案件で、転用目的は自己専用住宅です。

申請人らは北区国体町の借家に申請人らと子ども 1 人で生活していますが、子どもの成長に伴い家財道具が増え手狭になったことから、申請人（妻）の勤務先に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

農地区分は農地の広がり 10 ha 未満の 2 種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

議長 中・中央地区協議会の意見を踏まえて、協議会に出席された委員さんの意見をお願いします。

和田委員 中・中央地区協議会で、8 番から 22 番までの 15 件について協議したところ、事務局の説明のとおりで、いずれも許可意見としており、農業委員としても同様の意見です。

議長 他の委員さん、何かご意見がありますか。

全会 異議なし。

議長  
田尾係長

次に北・吉備地区の説明をお願いします。

11ページ23番、本件は令和6年4月19日付公告の農振除外済の案件で、転用目的は露天駐車場で、現在一時転用中です。

申請人は高松に本社を置き収集運搬業を営む法人です。事業拡大に伴い従業員用の駐車場が不足していたため、令和3年6月に許可を受け、露天駐車場に一時転用したものであり、引き続き使用する必要があるため、永久転用許可を受けるものです。

農地区分は、農地の広がりがある10ha以上の1種農地と判断されますが、申請地は集落接続があり、事務所近隣で他に代替地が無い場合、例外的に許可が可能です。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

24番、本件は令和6年4月19日付公告の農振除外済の案件で、転用目的は農業用道路で、現在一時転用中です。

申請人は総社市に本社を置き、製造業を営む法人です。申請地周辺で開発工事を行っており、その工事の関係で道路が一部通行止めになりますが、通行できる既存の道路は、曲がり角が鋭角で農地への通行が困難となるため、令和5年5月に許可を受け、農業用道路を新設し、農地への通行を容易にしたものです。引き続き使用する必要があるため、このたび所有権を移転し、永久転用許可を受けるものです。

農地区分は農地の広がりがある10ha以上の1種農地と判断されますが、農業施設への転用であることから、例外的に許可が可能です。また転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

25番及び26番は同じ地域のため、まとめて説明します。

転用目的は、いずれも自己専用住宅です。

25番、申請人は倉敷市の借家に家族2人で生活していますが、家財道具が増え手狭となったことから、妻の勤務先に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

26番、申請人は倉敷市の持家に家族3人で生活していますが、通勤に時間がかかること、家財道具が増え手狭となったことから、勤務先に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。なお、現住居は売却予定です。

いずれも農地区分は農地の広がりがある10ha未満の2種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

27番から32番までは、同じ地域のため、まとめて説明します。

転用目的は、いずれも自己専用住宅です。

27番、申請人は倉敷市の借家に家族4人で生活していますが、家財道具が増え手狭となったことから、勤務先に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

28番、申請人は平野の借家に家族3人で生活していますが、家財道具が増え手狭となったことから、勤務先及び妻の実家に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

29番、申請人は尾上の借家に家族2人で生活していますが、家財道具が増え手狭となったことから、妻の実家に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

12ページ30番、申請人（夫）は南区当新田の実家に、申請人（妻）は東区大多

羅町の借家に、それぞれ居住していますが、双方、家財道具が増え手狭となったことから、妻の実家に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

31番、申請人は中区高屋の借家に家族2人で生活していますが、家財道具が増え手狭となったことから、実家及び妻の勤務先に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

32番、申請人は辰巳の借家に家族2人で生活していますが、家財道具が増え手狭となったことから、妻のかかりつけの病院及び親戚の住居に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

いずれも農地区分は農地の広がり10ha未満の2種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

33番、転用目的は自己専用住宅です。

申請人は久米の借家に家族2人で生活していますが、家財道具が増え手狭となったことから、妻の勤務先に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

農地区分は農地の広がり10ha未満の2種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

議長 北・吉備地区協議会の意見を踏まえて、協議会に出席された委員さんの意見をお願いします。

三垣委員 北・吉備地区協議会で、23番から33番までの11件について協議したところ、事務局説明のとおりで、いずれも許可意見としており、農業委員としても同様の意見です。

議長 他の委員さん、何かご意見がありますか。

全員 異議なし。

議長 次に御津・建部地区の説明をお願いします。

田尾係長 12ページ34番、本件は令和5年9月20日付で農振除外公告済みの案件で、転用目的は倉庫です。

申請人は北区駅元町に事務所を置き、アルミやステンレス等のスクラップ事業を営む法人ですが、この度、銅、ステンレス、鉄等の金属原料に特化した物流倉庫事業をスタートさせるため、国道53号線や岡山空港が近く交通利便性が高い申請地の所有権を移転し、倉庫として転用しようとするものです。

農地区分は、特定土地改良事業実施後8年経過の1種農地と判断されますが、地域未来投資促進法に基づき地域経済牽引事業として岡山県知事の承認を受けており、例外的に許可が可能です。転用面積については、建築面積3887.75㎡の倉庫や露天駐車場などの土地利用計画から妥当なもの判断されます。また、被害防除計画等、その他の一般基準上も問題ないと考えます。

13ページ35番、本件は令和6年4月19日付で農振除外公告済みの案件で、転用目的は露天駐車場です。

申請人は御津伊田にて自動車、農機具部品のリサイクル業を営む法人で、近年の業容拡大により、今後事業用車両及び従業員の増加に伴う必要駐車スペースの増加が見込まれることから、既存駐車場に隣接する申請地の所有権を移転し、露天駐車

場に転用しようとするものです。

農地区分は、特定土地改良事業実施後8年経過の1種農地と判断されますが、業務上必要な施設で、集落に接続しており、事務所近隣で他に代替地がないため、例外的に許可が可能です。また、転用面積、被害防除計画など、一般基準上も問題ないと考えます。

議長 御津・建部地区協議会の意見を踏まえて、協議会に出席された委員さんの意見をお願いします。

佐藤委員 御津・建部地区協議会で、34番と35番の2件について協議したところ、事務局説明のとおりで、いずれも許可意見としており、農業委員としても同様の意見です。

議長 他の委員さん、何かご意見がありますか。

全員 異議なし。

議長 次に南区の説明を事務局からお願いします。

逢坂課長補佐 13ページ36番、本件は令和6年4月19日付で農振除外公告済の案件で、転用目的は自己専用住宅です。

申請人らは玉野市和田六丁目の借家に夫婦と子ども1人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったため、夫婦の職場に近い申請地の所有権を取得し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

農地区分は、南区役所から半径300m内の3種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

37番、転用目的は店舗（コンビニエンスストア）です。

申請人は東京都千代田区に事務所を置き、フランチャイズ事業によるコンビニエンスストアの経営を中心に、日用品などの販売や各種情報提供サービスを行う法人ですが、現在申請地近隣で経営している店舗が契約上の都合により閉店することに伴い、近隣住民や利用客から要望があったことから、現店舗の近隣である申請地に賃借権を設定し、店舗を建築しようとするものです。

農地区分は、福田地域センターから半径500m以内の宅地割合が40%を超える場合に、40%となるまで半径を延長した範囲内である2種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また、転用面積、被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

38番、本件は令和6年4月19日付で農振除外公告済の案件で、転用目的は露天駐車場で、現在一時転用中です。

申請人は曾根に居住する自営業者ですが、隣接地を自宅兼学習塾として利用しており、利用者の駐車場として申請地を露天駐車場として一時転用許可を受け使用してきましたが、同様の理由で今後も使用するため、永久転用許可を受けようとするものです。

農地区分は、農地の広さが10ha未満の2種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

39番、本件は令和6年4月19日付で農振除外公告済の案件で、転用目的は農家住宅です。

申請人は内尾にある父の持ち家に夫婦、両親及び祖母で生活していますが、家財道具が増え手狭になったため、申請人の実家に隣接し、今後両親の面倒を

みやすく、耕作している農地に近い、父所有の申請地に使用貸借権を設定し、農家住宅を建築しようとするものです。

農地区分は、高性能農業機械による営農に適した甲種農地ですが、集落に接続し、申請人の父の所有地で他に代替地が無く、例外的に許可が可能です。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

40番、転用目的は自己専用住宅です。

申請人らは玉野市八浜町の借家に、夫婦と子ども2人で生活していますが、現住居では手狭になったため、弟の自己専用住宅の建築予定地の隣接地で、祖父の所有する申請地に使用貸借権を設定し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

農地区分は、農地の広がりがある10ha未満の2種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

14ページ41番、本件は令和6年4月19日付で農振除外公告済みの案件で、転用目的は自己専用住宅です。

申請人らは豊成三丁目の借家に夫婦と子ども1人で生活していますが、家族が増える予定があり、現住居では手狭になるため、現在と生活環境が変わらず、夫の実家に近い申請地の所有権を取得し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

農地区分は、農地の広がりがある10ha未満の2種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

42番、本件は令和6年4月19日付で農振除外公告済みの案件で、転用目的は分家住宅です。

申請人は泉田四丁目の借家に夫婦と子ども1人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったため、申請人の実家に隣接し、今後両親の農作業の手伝いがしやすい母所有の申請地の所有権を取得し、分家住宅を建築しようとするものです。

農地区分は、農地の広がりがある10ha未満の2種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

43番、転用目的は露天資材置場です。

申請人は宮浦に事務所を置き、建設業を営む法人ですが、事業拡大により、建設資材置場が必要となったため、事務所に隣接する申請地の所有権を取得し、露天資材置場に転用しようとするものです。

農地区分は、農地の広がりがある10ha未満の2種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。転用面積については、約2900㎡の建設資材置場などの土地利用計画から妥当なものと考えます。また、被害防除計画等、その他の一般基準上も問題ないと考えます。

44番、45番は同じ地域のため、まとめて説明します。

転用目的はいずれも自己専用住宅です。

44番、申請人は妹尾の借家に夫婦と子ども3人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったため、妻の実家に近い申請地の所有権を取得し、自己

専用住宅を建築しようとするものです。

45番、申請人は北区田中の借家に夫婦で生活していますが、家財道具が増え手狭になったため、夫の職場に近くなる申請地の所有権を取得し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

農地区分は、農地の広がり10ha未満の2種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

46番と同時申請の申請等(2)4条申請2番をまとめて説明します。

46番と4条申請2番は同一の農地です。

転用目的は農耕車置場、農機具置場、農作業場、農作物及びわら置場で、原形復旧を伴う一時転用で、転用期間は許可日から3年間です。

申請人は浦安本町に居住する農業兼会社役員と藤田に事務所を置き、農業を営む法人ですが、わらを焼却処分する際に発生する煙に対して苦情があることや、多大な費用がかかることから、株式会社[ ]が排出するわらを所有者がラッピングし、畜産業者への再販を行う共同事業を計画しました。

容易に買い取り業者等の大型車両等が進入できる申請地を共同で一時転用するものです。

農地区分は農用地ですが、一時転用であり、農業振興地域整備計画に支障を及ぼすおそれがないと認められ、例外的に許可が可能です。

転用面積については、約1500㎡の農耕車及び農機具の置場、2000㎡の農作物及びわら置場、500㎡の農作業場などの土地利用計画から妥当なものと判断されます。

また、被害防除計画等、その他の一般基準上も問題ないと考えます。

47番から55番までは同じ地域のため、まとめて説明します。

47番から15ページ55番は、いずれも令和6年4月19日付で農振除外公告済の案件で、転用目的は自己専用住宅です。

47番、申請人らは福成一丁目の借家に夫婦と子ども1人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったため、夫の職場に近い申請地の所有権を取得し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

15ページ48番、申請人らは福田の借家に夫婦と子ども1人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったため、夫の実家に近い申請地の所有権を取得し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

49番、申請人らは倉敷市上東の借家に夫婦と子ども1人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったため、夫の実家に近い申請地の所有権を取得し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

50番、申請人は東区西大寺東三丁目の借家に夫婦で生活していますが、家財道具が増え手狭になったため、夫の職場に近い申請地の所有権を取得し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

51番、申請人らは植松の借家に夫婦と子ども3人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったため、妻の職場に近い申請地の所有権を取得し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

52番、申請人は新保の借家に夫婦で生活していますが、家財道具が増え手狭になったため、夫の職場に近い申請地の所有権を取得し、自己専用住宅を建

築しようとするものです。

53番、申請人は三浜町二丁目の借家に夫婦と子ども1人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったため、夫の職場に近い申請地の所有権を取得し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

54番、申請人は北区田中の借家に夫婦で生活していますが、家財道具が増え手狭になったため、妻の職場に近い申請地の所有権を取得し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

55番、申請人らは北区西長瀬の借家に夫婦で生活していますが、家財道具が増え手狭になったため、夫の実家及び妻の職場に近い申請地の所有権を取得し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

農地区分は、南区役所から半径300m以内の3種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

16ページ56番、申請人は倉敷市福田町の借家に夫婦と子ども1人で生活していますが、家財道具が増え手狭になったため、妻の実家及び職場に近い申請地の所有権を取得し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

農地区分は、農地の広がり10ha未満の2種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

議長 南区協議会の意見を踏まえて、協議会に出席された委員さんの意見を願います。

小林委員 南区協議会で、申請等(3)の36番から56番までの21件、及び申請等(2)の2番の1件について協議したところ、事務局説明のとおりで、いずれも許可意見としており、農業委員としても同様の意見です。

議長 他の委員さん、何かご意見がありますか。

全員 異議なし。

議長 それでは、申請等(2)2番の1件、並びに申請等(3)8番から56番までの49件全件を許可と決定してよろしいでしょうか。

全員 異議なし。

議長 それでは、そのように決定いたします。

なお、申請等(2)の2番、並びに申請等(3)の34番、43番、46番は、転用面積が3,000㎡を超えていますので、6月28日開催の県農業会議に諮問し、その答申を受けて許可指令書を交付することとします。

議長 次に、申請等(4)転用事業計画変更承認申請についての審議に入ります。中・中央地区の説明を事務局から願います。

田尾係長 17ページ1番、変更後の転用目的は自己専用住宅で、令和2年4月27日付で自己専用住宅を目的に許可となった案件です。

当初転用者は、新型コロナウイルスの影響で勤務先の業績が悪化し、大幅減給となり借入金返済の目途が立たなくなり計画を取り止めたもので、この度、承継者が転用事業を引継ぎ、転用事業を行うものです。

承継者は、赤磐市の持家に申請人と子ども1人で生活し、妻と子ども2人は別世帯で別居していますが、同居することで家財道具が増え手狭になることから、申請人の勤務先に近い申請地の所有権を移転し、自己専用住宅を建築しようとする



るものです。

なお、現在の持家は売却します。

農地区分は、農地の広がりがあるが10ha未満の2種農地と判断され、転用目的は問題ないと考えます。また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

議長 中・中央地区協議会の意見を踏まえて、協議会に出席された委員さんの意見をお願いします。

和田委員 中・中央地区協議会で、1番について協議したところ、承認意見としており、農業委員としても同様の意見です。

議長 他の委員さん、何かご意見がありますか。

全員 異議なし。

議長 次に南区の説明を事務局からお願いします。

逢坂課長補佐 17ページ2番、転用区域の変更です。

当初計画者は、自己専用住宅を転用目的として許可を受けましたが、5条申請40番で自身の兄が自己専用住宅を建築するにあたり、転用地の一部を進入路に使用することとなったため、転用区域を変更し、自己専用住宅を建築しようとするものです。

施設の概要や所要面積に変更は無く、建ぺい率も基準の範囲内であることから、転用面積についても問題ないと考えます。

3番から5番までは、同じ地域で同時申請のため、まとめて説明します。

これらはいずれも露天駐車場に一時転用中の案件で、当初の転用期間は令和3年6月18日から令和6年6月17日の3年間ですが、一時転用の期間延長と転用計画内容の詳細を変更するものです。

3番、申請人は浦安南町で運送業を営む者ですが、運送車両の駐車場として利用しようとするものです。

4番、申請人は藤田に事務所を置き、鉄工業を営む法人ですが、自社で所有する露天駐車場が一杯の状態であり、大型車両を保管するための露天駐車場として利用しようとするものです。

5番、申請人は藤田に事務所を置き、自動車整備販売業を営む法人ですが、車両運搬車や建設用大型車両などを保管するための露天駐車場として利用しようとするものです。

いずれも一時転用期間中に代替地が見つからなかったため、期間を2年延長し、交通至便な申請地を露天駐車場として利用しようとするものです。また、業務上いずれも大型車両を使用するため、普通車の駐車スペースを大型車両の駐車スペースに変更して利用しようとするものです。

農地区分は、高性能農業機械による営農に適した甲種農地ですが、原形復旧を行う一時転用であることから、5年以内の期間については例外的に許可が可能です。

また、転用面積・被害防除計画等、一般基準上も問題ないと考えます。

議長 南区協議会の意見を踏まえて、協議会に出席された委員さんの意見をお願いします。

小林委員 南区協議会で、2番から5番までの4件について協議したところ、いずれも承認意見としており、農業委員としても同様の意見です。

議 長 他の委員さん、何かご意見がありますか。

全 員 異議なし。

議 長 それでは申請等（４）については、１番から５番までの５件ですが、いずれも承認と決定してよろしいですか。

全 員 異議なし。

議 長 それでは、そのように決定します。

次に、申請等（５）岡山市農用地利用集積計画<sup>しゅうせき</sup>の決定について（所有権の移転）について審議します。事務局から説明をお願いします。

田 尾 係 長 １８ページ１番、農地中間管理機構である担い手育成財団が行う売買事業で、財団から耕作者への所有権移転です。

以上の計画内容は、旧農業経営基盤強化促進法第１８条第３項の各要件を満たしていると考えられ、地区協議会の審議では、承認意見となっています。

議 長 ただいまの説明に対してご意見、ご質問はありませんか。

全 員 異議なし。

議 長 それでは、申請等（５）の農用地利用集積計画の決定については、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

全 員 異議なし。

議 長 それでは、そのように決定いたします。

次に、申請等（６）農地法第３条の３第１項の規定による届出について、事務局より説明をお願いします。

田 尾 係 長 １９ページ１番から２６ページ３５番までの３５件で、３番は遺贈による所有権の取得、３２番は時効取得による所有権の取得で、残る３３件はすべて相続による所有権取得です。９番、１６番はあっせん等の希望がありました。９番は内容を確認済みで、１６番はこれから内容を確認する予定です。

各地区協議会では、いずれも問題なく受理意見です。

議 長 ただいまの説明に対してご意見、ご質問はありませんか。

全 員 異議なし。

議 長 それでは、申請等（６）については、３５件全件を問題なく受理と決定してよろしいか。

全 員 異議なし。

議 長 それでは、そのように決定します。

次に報告に移ります。事務局から説明をお願いします。

逢坂課長補佐 報告（１）農地法第４条第１項第７号の規定による転用届については、２７ページ１番から６番までの６件で、転用目的は長屋住宅１件、宅地造成１件、賃貸住宅１件、露天駐車場等２件、自己住宅地・通路１件で、専決日は備考欄のとおりです。

報告（２）農地法第５条第１項第６号の規定による転用届については、２８ページ１番から２９ページ１１番までの１１件で、転用目的は、分譲住宅地３件、住居建築１件、長屋住宅１件、露天資材置場等２件、自己専用住宅１件、敷地拡張３件で、専決日は備考欄のとおりです。

報告（３）農地法第１８条第６項の規定による合意解約通知については、３

0 ページ 1 番から 9 番までの 9 件で、解約理由は耕作目的及び転用目的 1 件、耕作目的 6 件、転用目的 2 件です。離作料は記載のとおりとなっています。

報告（４）農地法施行規則第 29 条第 1 号該当転用届については、31 ページ 1 番から 3 番までの 3 件で、内容は、農業用通路等 2 件、農業用作業場 1 件です。

報告（５）農地改良届については、32 ページ 1 番から 5 番までの 5 件で、内容は普通野菜畑 5 件です。

議長 これらの報告について、ご質問等がありますか。

全 員 （ありません。）

議長 それでは、これで第 1 号議案の審議を終了します。

引き続いて、第 2 号議案（１）岡山市第一農業委員会の農地利用最適化推進委員の委嘱決定についてを上程いたします。

事務局から説明を求めます。

事務局 （説明）

議長 事務局から説明がありました。ご質問、ご意見等がありましたら、お願いします。

全 員 （質問等）

議長 他にはございませんか。

全 員 特になし。

議長 それでは、第 2 号議案「岡山市第一農業委員会の農地利用最適化推進委員の委嘱決定について」は、原案どおり委嘱を決定することに、ご異議はございませんか。

全 員 異議なし。

議長 異議なしと認め、農地利用最適化推進委員の委嘱決定については、原案のとおり決定いたします。

〔 岡山市第一農業委員会の農地利用最適化推進委員  
担当区域 藤田地区 山本 卓朗氏（南区藤田）に委嘱決定 〕

議長 続きまして第 2 号議案、連絡事項について事務局から説明をお願いします。

事務局 （説明）

議長 以上をもちましてすべての議案を終了いたしました。他に何かありますか。

事務局 次回総会予定（7 月 18 日（木）岡山市役所 7 階大会議室）

職務代理 これにて本日の総会を終了させていただきます。慎重審議ありがとうございます。

閉会 午後 3 時 17 分

以上議事の顛末を記録して相違ないので署名する。

議長

署名委員

署名委員